

こんにちは！

リアン

です❁

2015・10・5発行 第7号

発行者：株式会社 リアン
ケアプランセンターリアン
北斗市久根別2丁目1番9号
TEL 0138-84-5136
FAX 0138-84-5124

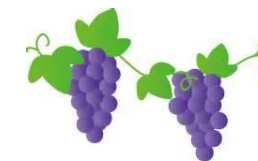
こんにちは。リアンです！



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、最近ではすっかり秋らしくなりました。「熱中症に注意しましょう！」と言われるほどの暑い夏も一瞬でしたが、夏の疲れが出る季節と言われ、体調を崩し風邪をひいてしまった・・・という声をきくことが増えています。長引く前に早めに治療して、味覚の秋、勉強の秋、芸術の秋などと言われるように、これからの季節、楽しみの時間をつくり秋の味覚を堪能して、有意義に読書やスポーツ、紅葉を見に出かけるなど普段できないようなことにチャレンジしてみるのもいいかもしれません。介護が必要で出かけられない・・・、紅葉も見に行きたいなど、お悩みの方は、ケアプランセンターリアンに相談していただければと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。



管理者：対馬 紀子



生活すること、生きることを支えます

ケアプランセンターリアンでは、できるだけ長く慣れ親しんだ自宅での生活をお手伝いしたいと考えております。

今回の「こんにちは！リアンです」では、その様子をご紹介しますと思います。

私たちが、かかわっているサービス付き高齢者住宅に住んでいた77歳 女性、Mさんのお話です。



息子さんが独立されてから、一軒家にご主人と二人で暮らしてきました。そのご主人が、今年に入り病気で他界されました。ご主人の病気が悪化していく中で、「最後の願いは妻と見つめ合って過ごしたい」という強い思いでした。その願いを叶えるには、二人きりでの生活は困難でした。私たちと息子さん夫婦、そしてご本人たちの要望もあり、サービス付き高齢者住宅へ入居することとなりました。訪問診療、看護の医療と訪問介護、福祉用具の介護保険サービスを調整し組み合わせて、生活のお手伝いをさせていただきました。その結果、二人の最後の時間を大切に過ごすことができました。

ご主人が亡くなってしまい、自宅に帰りたくなったMさんです



が、認知症のため、ご飯を炊くことや電子レンジを使うことが困難な状態です。息子様も「自宅に帰ってきて、外出のたびに家に帰ってくるができるかどうか心配」ということです。

しかし、身体は元気まだまだできる事がたくさんあります。思い出のいっぱい詰まった我が家に帰りたいという気持ちも十分理解できることです。そこで、息子さんご夫婦とMさんと、自宅で生活するために何ができるのかを話し合いました。こもりがちになってしまうと認知症が進行してしまうこともあるので、デイサービスを利用し入浴や運動、他の方たちとの交流をすることで気分転換をしていただき、デイサービスが休みの時は、夕方に訪問介護サービスを利用し、ご飯支度を一緒に行い、お薬の確認と安否を確認することとなり、無事に思い出の自宅での生活にもどりました。現在では、ヘルパーの方と一緒にこなうことで、電子レンジの使い方などをおもいだすなど、できることが増えてきています。



ちょっと解説

サービス付き高齢者住宅は、施設サービスとは違い一人ひとりが自宅(居室)を持ちプライベートが保てる空間となっております。

最大の違いは、住宅であることです。入居されるほとんどの方は、自宅での生活が難しく、ご家族が遠方または、仕事のためご本人と関わる時間をつくるのが困難な方です。サービス付き高齢者住宅での生活は、在宅での生活となるので介護保険サービスを中心に生活をしていきます。浴室や洗濯室などは共有となっているため、訪問介護サービスを利用していただき、お風呂の用意から終了後の掃除までを介護保険サービスとさせていただきます。また、掃除や洗濯、買い物など、「自分でできる」と言われる方でもご本人の安全面やリスクなどを考慮し確実に出来るように支援、訪問介護サービスを利用することで、体調の変化や居室の管理など安心して生活できるよう関わりをもたせていただいております。

また、24時間介護員が常駐しておりますので、緊急時や相談、ちょっとしたお手伝いができ、安心して生活できるような体制になっております。また、気分転換など、生活の中のリハビリとしてデイサービスを利用されている方もおります。施設サービスとは違い、本人のペースで生活できるように私たちもケアマネージャーとして関わらせていただいております。

次回もお楽しみに！次回の発刊は、12月です！

